

株主のみなさまへ

第64期 株主通信

2023年12月21日 ▶ 2024年12月20日

■ Advance to the Future

太洋テクノロックス株式会社

証券コード：6663

トップメッセージ

新経営体制に移行し、 経営基盤を強化

2024年12月21日付で前代表取締役社長細江美則が代表取締役会長となり、後任として細江正大が代表取締役社長に就任いたしました。事業環境の変化に迅速に対応し、機動的な経営判断を行うべく当社の経営体制の一層の強化と充実を図るとともに、トップマネジメントを強化することで安定的かつ持続的な企業価値向上に努めてまいります。



代表取締役会長
細江 美則

代表取締役社長
細江 正大

2024年12月期の業績

2024年12月に代表取締役社長に就任いたしました細江正大でございます。私は大学卒業後、半導体商社にて海外市場の開拓に注力してきました。2022年に当社に入社し、営業の責任者を担ってきました。こうした経験を踏まえて中長期にわたる持続的な成長を実現することで、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

2024年12月期の業績について電子基板業界においては、スマートフォンの新機種投入や生成AI(人工知能)の活用が進む中でデータセンター市場に回復の兆しが

みられたものの、主力の電子基板事業は、お客様の在庫調整が長期化している影響もありFPCの試作案件やリジット板の販売が低迷しました。

一方、テストシステム事業及び鏡面研磨機事業については、売上高が堅調に推移したことから増収となり、損益についてはテストシステム事業及び鏡面研磨機事業の売上高が増加したことに加えて人件費等の販売費及び一般管理費が減少したことに伴い、損失は縮小しました。

第64期 業績ハイライト

売上高

3,519百万円

前年同期比

+3.2%

営業利益

△54百万円

前年同期

△141百万円

経常利益

△47百万円

前年同期

△108百万円

親会社株主に帰属する当期純利益

△79百万円

前年同期

△126百万円

成長戦略への取り組み

2025年12月期につきましては、半導体市況の回復を見据え、需要の掘り起こしに注力していく考えです。電子基板事業に関しては、FPCの試作を主業務としてきた経緯から、大規模量産には対応できない反面、医療機器や産業機器などニッチな領域で付加価値の高い製品をお届けできるのが強みです。現在、医療・ヘルスケア関連向けをターゲットにした高密度多層基板の技術開発に向けた設備投資を計画しており、2027年の量産開始を目指しているところです。また、高周波向け素材の開発を素材メーカーと連携して行ってまいります。今後は基板に加えて、回路設計やモジュール化、筐体設計、完成品の組み立てに至るまで一貫して対応できる体制を整えてまいります。

テストシステム事業に関しては、通電検査機に加えて、セラミックス基板やパッケージ基板向け外観検査機の販売をさらに拡大していきます。また、最新の基板検査装置においてAIを利用した欠陥検出力及び検査精度を高めることで、パワーデバイス市場に向けた販売を強化していきます。

こうした取り組みを加速していくことで、既存事業の幹を太くしていくとともに、グループ内のコア技術の強みを再確認し、技術のシナジーを発揮することで新たな成長に向けた道を拓き、成長領域を見据えた新規分野の開拓をしてまいります。人手不足などの問題から省力化、自動化に対する要望は多く、こうした声に真摯に応えることが当社グループの使命と考えています。

今後の成長を見据え組織改革、業務の効率化を推進

既存事業における成長戦略を着実に実行して、売上高50億円規模を早期に達成できる体制を構築していく考えです。その先も新規の開拓領域を通じて、売上の拡大を図っていきます。

今後、事業の拡大に向けて社内の組織体制の見直しをはじめ、業務の効率化、社内の情報連携が重要と考えます。組織改革の一環としては、近年、地政学リスクをはじめとする調達リスクが高まる中で、新たに調達部門を独立させることで調達マネジメント力の強化を図っております。業務の効率化については、2025年度より販売管理及び生産管理などの機能を一つに連携した全社共用の新生産管理システムを本格稼働しており、全社的な業務

の効率化に寄与しています。

加えて、定型業務の自動化や蓄積データの収集・分析・可視化など、様々なツールを組み合わせ利用し、必要な情報をタイムリーに抽出することが可能となりました。これにより、現場や経営の意思決定をより迅速に行うことで、製品・サービスの品質向上に貢献できると考えます。

今後は、電子基板事業における試作案件及び中小ロット量産案件で需要を確実に獲得するとともに、テストシステム事業、鏡面研磨機事業、産機システム事業においても販売活動の強化及び原価の低減に取り組んでまいります。

引き続き株主の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

企業データ

会社概要

社名	太洋テクノレックス株式会社
設立	1960年12月
代表者	代表取締役社長 細江 正大
資本金	822,195,800円
従業員	209名(連結ベース) (2024年12月20日現在)
関連グループ会社	株式会社ミラック TAIYO TECHNOLEX (THAILAND) CO.,LTD. 太友(上海)貿易有限公司

株主メモ

事業年度	毎年12月21日から翌年12月20日まで
期末配当金受領株主確定日	毎年12月20日
中間配当金受領株主確定日	毎年 6月20日
定時株主総会	毎年 3月20日まで
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL(0120)094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード6663)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.taiyo-tx.com/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

TAIYO TECHNOLEX CO., LTD.

〒640-8390 和歌山市有本661番地
TEL(073)431-6311(代)

